

第2回丹南地区高校教育懇談会における主な意見

日 時 平成29年10月10日(火) 18時30分～20時30分

場 所 サンドーム福井103、104研修室

- ・工業高校の機材が少し時代遅れ気味になっている。県内ではなく、金沢や名古屋の工業高校の機材を見てくるとかしないと、丹南地区にある多くの企業に適応しにくいのではないか。商業にも関係あると思うが、最先端に近いように、10年先15年先に合うために、規模をアップして機材の導入にお金を使ってほしい。
- ・地元に残る生徒をどうやって生かしていくかについて真剣に考えてもらわないと、経済界の疲弊は免れない。
- ・武生工業の工業化学科は、危険物をはじめとした資格をとるなどして地元企業に卒業生を送り出しているが、この工業化学科をフォローする形を検討できないか。
- ・平成32年から平成37年までの5年間は、授業や部活動をするために、シャトルバスを使ってキャンパス間を行ったり来たりと不便なキャンパスライフになると思うので、そのところはぜひ便利なお願いをしたい。
- ・せっかく大きな学校になるのであれば、芸術などで、生徒が好きな科目を選べるようにしてほしい。
- ・鯖江高校で2クラス分、武生高校で3クラス分の余裕があるのだから、武生東高校を鯖江高校と武生高校に統合してもいいのではないか。
- ・将来的なことを考えた時に、単に数合わせということではなく、子どもが本当に行きたい進路ということをしつかりと考えたうえで、再編をしてほしい。
- ・西方面は丹生高校が残ることなので、東方面では武生東高校を残していただきたい。地勢的にもバランスを考えていただければと思う。
- ・2年生の文理分けで希望するコースに行けないことがないよう柔軟に対応してほしい。
- ・鯖江のIT・デザインやスポーツ・福祉は総合産業高校に入れたらどうか。
- ・今回の再編案の方向でお願いしたいと思う。
- ・丹南高校の施設の利用として、丹南教育センターを設置してほしい。
- ・丹南から福井へ生徒が流れたからクラスを減らすというのではなく、もっと前向きに丹南地区に残れるようなことも含めて考えていただきたい。
- ・商業と工業が合併するということが、子どもたちの行き来とかもあるのでは、心配しているが、坂井高校のように活躍していただきたいと思うので、商業と工業のいいところを残しながら、新しい学校をつくっていただきたい。
- ・総合産業高校の新キャンパスは、できれば鯖江に近い武生でお願いしたい。
- ・総合産業高校が、平成37年に1キャンパスとしているのと同じように、丹南高校と鯖江高校も、将来的に、1キャンパスにする可能性を検討としておいてほしい。
- ・授業中気分が悪くなった場合に、丹南高校の実習棟に保健室がないと困る。生徒に極力負担のかからないようにしてもらいたい。